

2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【北九州市】

学校名【北九州市立田原中学校】

1 実践テーマ	I・III・V
2 実施対象者 (学年・人数)	北九州市立田原中学校 全学年（1年186名・2年166名・3年180名）
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 (保健体育1年オリパラ新聞)</p> <p>② 行事名 (体育大会3年マスゲーム五輪行進 文化発表会：2年つまようじアート 3年モザイクアート)</p> <p>③ その他 (オリ・パラ教育講演会：全学年)</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ()</p> <p>② その他 ()</p>
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> オリンピック・パラリンピック調べ、体育大会の演技や文化発表会での制作活動に、オリ・パラの要素を取り入れ、スポーツ全般やオリンピックへの関心を高め、スポーツを楽しむ心を育てる。 ロンドンオリンピック柔道90kg級銅メダリスト、西山将氏選手の体験談や努力から得られる喜び、オリンピックの歴史や実際の雰囲気、柔道に関するルールや技を知り、オリンピックへの興味を深める。
5 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 10月中旬 オリ・パラに関する事前アンケート実施 (筑波大学オリンピック教育プラットフォーム 全学年対象) 10月下旬 2年生爪楊枝アート (文化発表会展示) テーマ「オリ・パラ競技場メインアリーナ」 

	<p>3年生モザイクアート（文化発表会展示） テーマ「体育大会マスゲーム（五輪行進）の一場面」</p>  <ul style="list-style-type: none"> 11月上旬 1年生オリ・パラ調べ新聞（保健体育）   <ul style="list-style-type: none"> 11月16日 土曜日授業 オリンピック・パラリンピック教育講演会 ロンドンオリンピック柔道90kg級銅メダリスト 講師 西山 将士選手（日本製鉄株式会社） 演題「スポーツの魅力と将来の夢を実現するための心構え」    <p>オリ・パラに関する事後アンケート実施 （筑波大学オリンピック教育プラットフォーム 全学年対象）</p> <ul style="list-style-type: none"> 11月18日 感想文記入
<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> オリンピック・パラリンピックへの理解や関心を深め、スポーツの楽しさや努力することの大切さを学ぶことができた。自分の得意な競技だけでなく、日頃の健康や体力の増進を振り返る機会となった。 国技としての柔道について知識を深めるとともに、身近な選手の活躍を通して、試合の勝敗だけでなく、それまでの努力の積み重ねや他の人とのかかわりなど、様々な視点からスポーツを楽しむことを学ぶことができた。
<p>7実践において工夫した点（事業の特色）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本年度、保健体育の授業や体育大会等で取り組んできたことなどを、文化発表会の共同制作の題材に選んで振り返るとともに、オリパラ新聞で調べ学習をするなど、それぞれの取組を連続させることで、オリンピック・パラリンピックへの興味・関心を高めた。 オリンピック・パラリンピック教育講演会については、ロンドンオリンピック柔道90kg級銅メダリストで、林校長の教え子の西山選手に講演を依頼した。講演に関して、西山選手の柔道選手としての生い立ちや思い出、柔道を通じて成長した点、またオリンピックの雰囲気や過酷さ、出場の喜びなど動画などを交えて話していただくことを事前に打ち合わせした。

8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> • 講師謝礼金等の申請から振込までに時間がかかり、謝礼金が支払われるまでの流れをスムーズにしてほしい。 • 北九州市とオリンピックとの関わりについて、各競技や選手団の誘致、応援体制など市の方向性と合わせた取り組みができるとうい。
9 来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> • 来年度も、同様に取り組みを実施していく。内容・講師等は未定。